

定置網漁

主要対象: コマイ・サケ等の沿岸性の魚介類

沿岸を回遊して移動する魚の通り道に網を仕掛けて、魚を取る漁法です。季節ごとに回遊する魚の習性や潮の流れを読んで、網の設置場所を決めます。

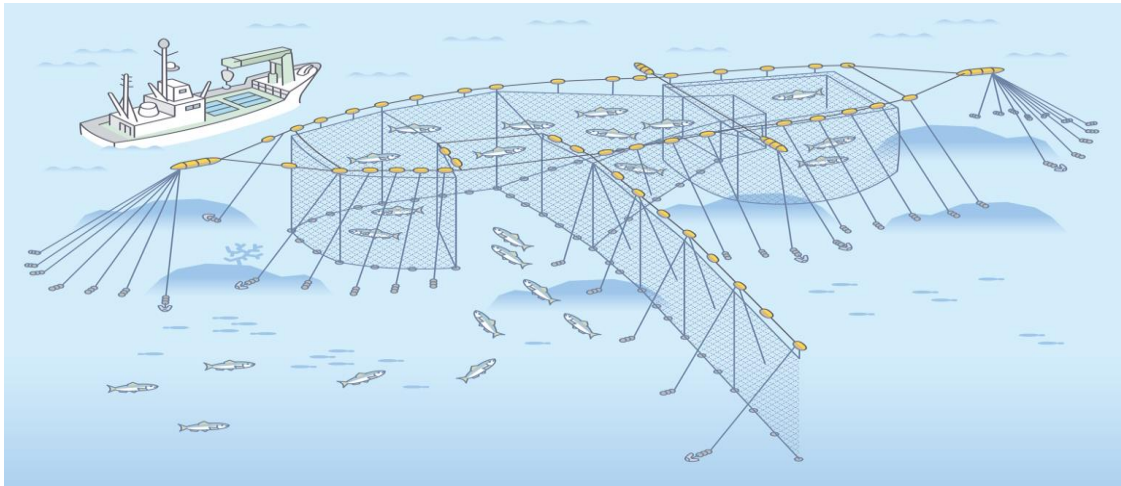
能動的に魚を追いかける漁法と異なり、過剰漁獲に陥りにくい、継続的な漁業が可能な環境に優しい漁法と呼ばれています。

○根室市における漁期

・サケ春定置 4月中旬～7月

・秋サケ定置 9月～11月

・コマイ定置 1月～3月、5月～6月



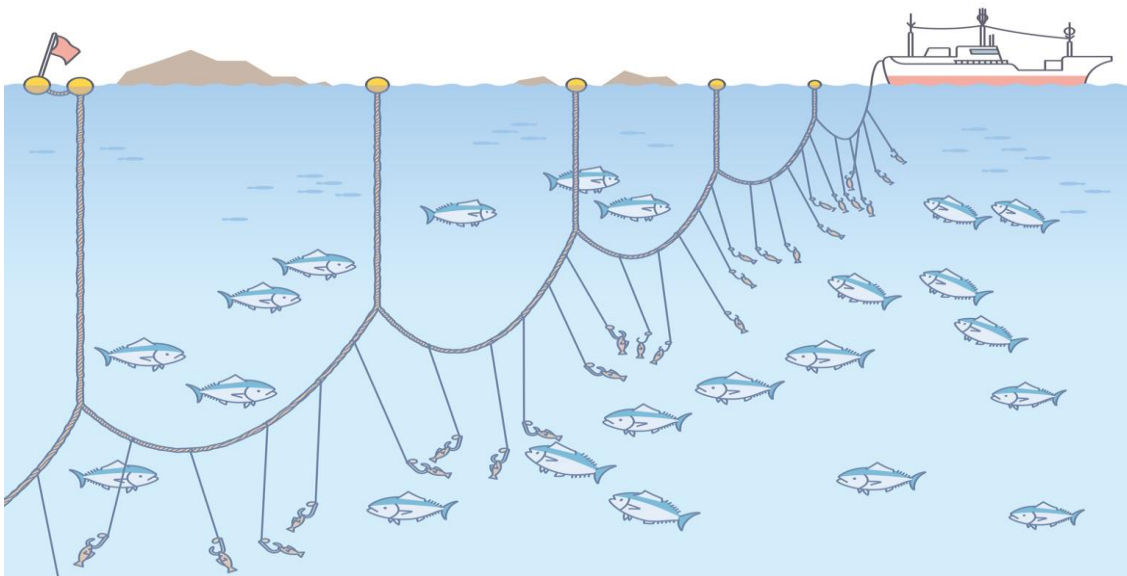
延縄漁

主要対象: タラ

日本で開発された漁法で、一本の幹縄に針のついた枝縄を一定間隔で取り付けた漁具を使い、枝縄の長さは数百メートルから時には数百キロに及ぶこともあります。

餌にする魚の大きさを調整することで、幼魚ではなく十分に成長した魚を選択的に漁獲することができる漁法です。

○根室市における漁期 12月～3月



桁網漁

主要対象:ホタテ、ホッキ

鉄、または木などの枠で網口を固定させた袋状の網(下部写真のもの)を桁網(けたあみ)と言い、この桁網にロープ等を巻き付け、船上から海底に沈め、船で引くことで海底のホタテガイやホッキ貝などを獲る漁法です。

引いた後、桁網を船に巻き上げ、船上で漁獲物を選別するという行程を一回の漁で何度か繰り返します。

- 根室市における漁期
- ・ホタテ 4月～5月、11月下旬～1月
 - ・ホッキ 4月～5月、8月～12月

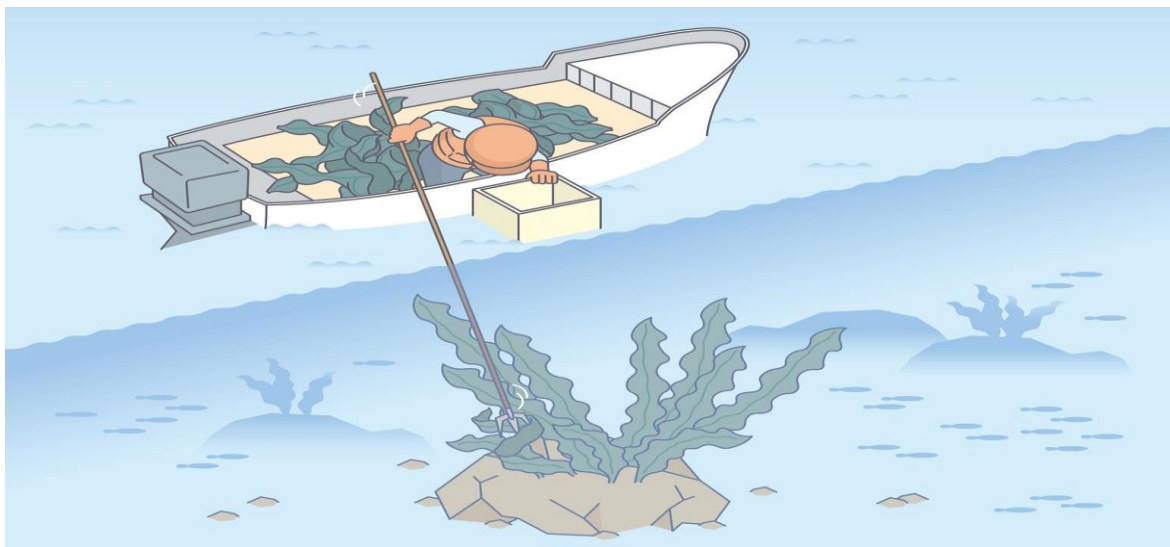


昆布漁

対象:昆布

昆布漁は小型船の上から「かぎ」「まっか」「かんざし」等と呼ばれる先端がL字状や螺旋状、三叉状等の様々な形になった細長いプラスチック(FRP)製の漁具で海底の昆布を絡めて採取する漁法です。

- 根室市における漁期 6月～10月



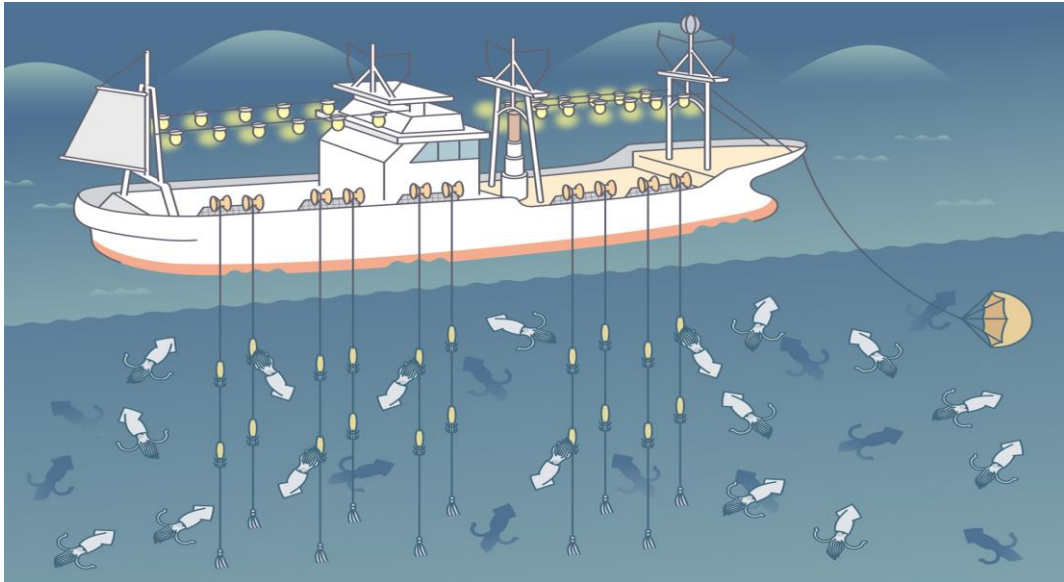
イカ釣り漁

対象:イカ

漁船に設置された漁灯を点灯させ、光に集まってきたイカの群れに対し、自動いか釣り機を用いて、イカ針(疑似餌)を海中に投入し、引き上げる時にイカを漁獲する漁法です。

また、漁船後方に設置された大きなパラシュートは、シーアンカーと呼ばれ、海中に投入することで、潮の流れの影響により、大きく揺れる船体と漁具を安定させ、イカが疑似餌に食いつきやすくする役割を持っています。

○根室市における漁期 8月～11月



氷下待ち網漁

対象:コマイ・ワカサギ・チカ

根室市と別海町にまたがる風連湖において、冬場の厳しい寒さで凍結した湖面に穴を開け、水深約2メートルに網を設置し、2～3日後に網上げを行う、明治時代から行われていると言われる伝統的な漁です。

網の設置や網起こしの際、移動手段として凍結した湖面をスノーモービルに乗って移動し、網起こしの際のおこぼれを狙って、オジロワシやオオワシの姿も見られる等、自然豊かな根室ならではの漁法です。

○根室市における漁期 1月中旬～2月



【出典:イラスト・農林水産省、写真・根室市水産振興課】